

ソーシャルサポートセミナー あらいぶ

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和5年3月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個々の目的に合わせたスペースが確保できている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用者人数や活動によって人数配置を換えているが、十分なスタッフ配置ができていると思う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		賃貸住居で2階のため、エレベーターが配置されていない。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年度初めに目標設定を行い、10・3月に自己評価をするシステム
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年1度アンケートをとり、利用者の意見を聞いている
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			以前は、年に1度保護者会を行い年度計画やアンケート結果などを知らせていたが、事業所数が多くなると保護者の参加が減少したので行わずに手紙や通信、ホームページ等で公開している
	7 第三者により外部評価を行い、評価結果につなげているか		○		外部専門家としてOTの木村順先生と元八幡学園職員の土橋良太先生をお招きして、支援等に関するアドバイスを頂いている。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎年1回、法人全体研修を行っている。毎月色々な研修の機会を設ける	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個人個人にあって将来の自立に向けた計画を児童の環境にあわせ保護者と話し合いながら行っている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			場合により、検査を行えるようにWisc-4等の検査キットを準備している
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案週案日案の作成をチームで行っている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者集団にあわせたプログラムに心がけている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みや休日のプログラムは普段できないダイナミックなものを準備している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団と個別活動のプログラムを作り、個々のニーズに合わせて行っている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝は児童事業所全体で打ち合わせ(児童配慮点など)活動前は各事業所で打ち合わせを行っている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、事業所でスタッフ全員で支援の振り返りをしている

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表	○			記録は、個人日誌や活動計画に反省まで記録している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行っていただきたいが、相談員は電話が多い。子供のフェースシートを作成して理解してもらおう。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもつともふさわしいものが参画しているか	○			その時関わっているスタッフを複数参加させるようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有のために、スタッフが親御さんの許可のもと、学校の先生と面談を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	看護師がいないため、必要場合は親子一緒の利用をお願いしている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じてケース検討会を実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	障害福祉サービスへの移行は学校との情報交換などを行うようにしているが不十分である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センターでの研修にはなるべく参加するよう心がけている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域の学校のイベント参加して交流を深めている。地域食堂なども2月に1回開催している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があまり得られない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子供の定型発達についての研修を行い、障害について知識を深めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者の方へ向けての座談会や地域に向けての講演会等、保護者の方に対しての支援を行っている。直接的な保護者向けの支援等は面談等、個々に対応している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	支援の内容について、親御さんとの連絡を連絡帳や電話、面談等で取り合っているが、まだまだ不十分な部分もある。随時質問等があった場合には説明をしている。

	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別面談は要望により随時行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子ふれあいや就学時前保護者会・動物公園花壇ボランティア・保護者交流会・父の会などを定期的に行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談苦情は、管理者を通して対処することになっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行、また年に1度「風のささやき」を発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフから個人情報守秘義務の誓約書で確認している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		情報の伝達には電話や連絡帳で情報を伝達している。また、随時面談も行っている。しかし、より情報伝達の配慮は必要と考えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待するイベントなどは行うことが出来ていないが、地域の方々に挨拶をしたり、買い物に行くことで地域の施設との連携を図っている。
非 常 時 等 の 対	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルをつくり周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を行う、また非常食を食べる機会を作る
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待が起こらないように、発達の研修を行い、児童の状況を把握し虐待が起こらないよう、対処の仕方を話し合い対処する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束が必要な子に対してのマニュアルを作成をしている。対応する場合にはそのマニュアルを参照にして対応することになっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			打ち合わせのときに確認して周知する。必要に応じて明記した紙を貼っている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月スタッフ会議のときに法人全体に発表して対処の方法を話し合う	